

『研究室』 8. 30.

現代中国和世界

石川忠雄教授遠慮記念
論文集編集委員会編

中国共産党史の權威で現在
慶応義塾大学学長である石川

忠雄氏の遠慮記念論文集。徳
田教之、平松茂雄氏ら慶応の

研究者のほか岡部謙徳、中嶋
健蔵氏ら外の学者も寄稿し

ている。辛亥革命以来の中日
関係、中国共産党の内部動向

などいずれも重厚で、かつき
わめて今日的な中国解剖の論

文。
(慶應通信・一五〇〇〇E)

研究室



石川忠雄教授遠慮記念論文集刊行委員会編

現代中国和世界

その政治的展開

石川忠雄大教授の遺稿を記
含して、教えを受けた研究者や
交友のある中国研究者の論文
を集め、第一部「現代中国」、
第二部「地域研究と政治学」と
計二十七篇の論文で構成してい

る。第一部は中国以外の地域研
究、国際政治学などの分野を取
めているが、第一部は現代中国
に際して、政治、軍事などの面か
らアプローチを試みている。
歴史研究では、抗日戦争後の

国民党を扱った「平和と民主主
義の段階における中国国民党の
戦後政権構想」(山田辰雄)が
あり、政治分析では、スターリ
ン批判との比較も最近の毛沢東
批判を論じた「共産主義政治

科学院の創設」(平松茂雄)は
毛沢東や党中央との合意成立の
メカニズム、軍事路線の転換な
どを分析している。
他に「張文の抗日態度」(藤
井昇三)、「フランスの現代中
国研究」(ラジンス知識人の中
嶋)、「中嶋謙徳」など多面的な
現代中国分析がなされている。
(慶應通信・一五〇〇〇E)

『毎日新聞』 82.8.9